

金沢市持続可能な観光振興推進計画 2026 骨子（案）等についてのパブリックコメントにおけるご意見の概要と金沢市の考え方

1. 募集期間：令和7年11月28日（金）～12月27日（土）
2. 提出方法：メール、郵便、ファクシミリ又は窓口へ持参
3. 意見数：8件（意見者数3人）

No.	ご意見の概要	金沢市の考え方
1	<p>観光振興はそれ自体が目的となるものではなく、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民生活の質の維持・向上</li> <li>・ 地域経済の持続的な発展</li> <li>・ 歴史・文化・自然資源の継承</li> </ul> <p>といった、より上位の目的を実現するための「手段」であると考え るが、本計画においてはこれらの目的が並列的に扱われており、観 光振興を行う最上位の目的が明確に示されていない。</p>	<p>本計画は、金沢市都市像「未来を拓く世界の共創文化都市・金沢」 の実現に向けた市政運営の最上位計画である「未来共創計画」を推 進するためのプランと位置づけておりますので、本計画と関連計画 の位置づけを明確に示してまいります。</p>
2	<p>「何が、どのような状態で持続可能であるべきか」が明確に定義さ れていない。例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光客数の増減</li> <li>・ 観光消費額の拡大</li> <li>・ 市民生活への影響</li> <li>・ 文化資源・自然環境の保全</li> </ul> <p>これらの間には、状況によってはトレードオフが生じる可能性があ るが、そうした対立が生じた場合にどの価値を優先するのかという 判断基準が示されておらず、判断の拠り所となる価値の序列を一定 程度明らかにすることが重要である。</p>	<p>本計画では、地域経済の活性化のみならず、金沢の文化・環境など を持続可能にしていくために、様々な視点を考慮しながら、総合的 に観光を上手に活用することが重要だと考えており、ご指摘の「価 値の序列」を設けることは考えておりません。なお、本計画の推進 事業の確認や数値目標の見直し等は、様々な関係者で構成する「金 沢市持続可能な観光振興推進会議」において毎年検証することとし ております。</p>

3	<p>経済的効果を意図した施策が盛り込まれているが、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的なのか</li> <li>・手段なのか</li> <li>・あるいは副次的な効果なのか</li> </ul> <p>については明確に整理されていない。経済的側面を計画上で位置づけ、その上で市民生活や文化との調和をどう図るのかを示すべき。</p>	<p>観光消費額を向上させるための施策や数値目標に加え、観光が市民生活にもたらす効果を整理し、本計画に記載します。また、計画に盛り込む推進事業の中で、住む人、訪れる人双方に、平易な言葉でわかりやすく発信したいと考えています。</p>
4	<p>各主体の役割が示されているが、市民にとってこの計画が自らの暮らしとどのように関わるのかが明確でない。</p> <p>特に、観光振興によって、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何が良くなり</li> <li>・何が変わり</li> <li>・どこまでが許容範囲なのか</li> </ul> <p>が見えにくく、抽象的に感じられるため、観光振興が市民生活とどのように結び付くのかを、より平易な言葉で示すことが望ましい。</p>	
5	<p>市内の治安維持のため、観光客と地元住民のゾーニングを行い、観光客を一定の区域内に囲い込む必要性が高まっている。</p> <p>具体的には、金沢駅を起点にひがし茶屋街、尾張、武蔵、片町、にし茶屋街までの一定地域外に、特に外国人観光客が迷いこまないようにゾーニングをすることが必要。</p>	<p>訪れる人に対し、まちなみの保全や市民生活への影響等を考慮した、責任ある観光の実践を促してまいります。</p>
6	<p>金沢観光たしなみ帖（案）に賛成する。外国人観光客向けに、知ろう和のマナーという感じで、旅行会社を通じた着地前情報提供と、着地後の情報提供の二面をまずは整備して、不謹慎な外国人観光客を抑制する必要がある。</p>	<p>観光客に対し、旅行前の段階を含めて、「金沢観光たしなみ帖」の普及啓発やマナーの周知等の情報発信を行います。</p>
7	<p>「質の高いガイドの育成」における「質の高い」には、「マナー教育もできること」を期待したい。</p>	<p>マナーも含め、金沢に住む人が大切にしている価値を伝えられるガイドの育成を目指してまいります。</p>

8	<p>計画の目指す姿には賛同するが、企業（特に飲食店、宿泊業、土産店など観光関連事業者）の意識や姿勢が伴っていないと感じる。観光客がほんものに辿り着きにくくなっており、偽物や模倣品、雰囲気だけ似せたものが多く、観光客が金沢を誤解してしまうことを懸念している。</p> <p>「ほんもの」が何であるかを示し、規制や基準を設けて欲しい。何が金沢ならではのものなのかを、子供だけでなく広く市民が理解する必要がある。</p> <p>郷土愛から観光客を歓迎する意識が育つ風土が生まれれば良いと思う。</p>	<p>市民、観光事業者、旅行者それぞれに、金沢の培ってきた歴史、まちなみ、伝統文化、食文化等の個性・魅力を学び、市民生活に息づく「ほんもの」を知る機会を増やす取り組みを推進していきます。市民が金沢に誇りや愛着を持ち、訪れる人を歓迎する風土を育むとともに、観光事業者には「ほんもの」を生かしたコンテンツ造成を促し、旅行者も「ほんもの」であることを求めることで、金沢の個性や魅力を未来に繋いでまいります。</p>
---	--	--

(注) ご意見については、一部要約して記載しております。